

平成 年 月 日

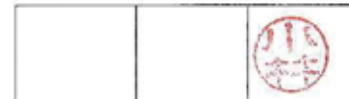
製品検査成績表

日本化学塗料株式会社
神奈川県綾瀬市上土棚北 4-10-43
電話：0467-95-5711



品名	スチールバリアタイプ1
----	-------------

製造番号	NIIH9706		
製造年月日	平成21年10月7日	検査年月日	平成21年10月7日
製造数量	16kg×28缶		



検査項目	検査成績	製品規格
外観	合格	淡黄色微濁
p h	8.0~9.0	8.65
総合判定	合格	
備考		

無塗装鉄筋に対する最大付着応力度の割合 (%)

	最大付着応力度の割合 (%)	土木学会基準
スチールバリアタイプ I	101%	85%以上

試験方法：JSCE-E 516-2003 「エポキシ樹脂塗装鉄筋の付着強度試験方法」に準拠



印刷日: 2008年7月31日

作成日: 2008年3月31日

改定日:

製品安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等および会社情報

化学物質等の名称	スチールバリアタイプ I
会社名	日本化学塗料株式会社
住所	〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43
担当部門	開発部
e-mail アドレス	info@ncpaint.co.jp
緊急連絡先	同上 電話番号 同上
製品の種類	水溶性防錆剤
用途と使用上の制限	金属用一次防錆剤

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	該当せず	
健康に対する有害性	急性毒性	経口 区分外 経皮 区分外 吸入(ガス・粉塵・ミスト) 区分外 吸入(蒸気) 区分外
	皮膚刺激/腐食性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性/皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分外
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分外
	吸引性呼吸器有害性	区分外
	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(慢性)	区分外

【GHSラベル要素】

「絵表示、注意喚起語」 該当せず

「危険有害性情報」 該当せず

「注意書き」

《予防策》

容器を密閉しておくこと。
 取扱時には飲食や喫煙をしないこと。
 保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
 取扱後は手をよく洗うこと。
 環境への放出を避けること。
 塗料が付着した布、紙等の可燃物は廃棄まで水に浸して保管する。

《応急処置》

吸引した場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外しその後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚等に付着した場合	: 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
漏出した場合	: 漏出物を回収すること。

＜保 管＞

涼しく換気のよい場所で、施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

＜廃 棄＞

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分および含有量（危険有害性物質を対象） : 該当せず

4. 応急処置

目に入った場合

①直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。
②出来るだけ速く医師の診断を受ける。

皮膚等に付着した場合

①付着物を布で素早く拭き取り、大量の水および石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
②外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

①蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

①誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
②嘔吐物は飲み込ませないこと。
③医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の処置

使用可能な消火剤

水[]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[]

消火方法

①水を消火に用いてはならない。
②適切な保護具（耐熱性着衣など）を使用すること。
③可燃性のものを周囲から、速く取り除くこと。
④指定の消火剤を使用すること。
⑤高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。
⑥消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の処置

①作業の際は適切な保護具（手袋・防護マスク・エプロン・ゴーグル等）を着用する。
②乾燥砂・土・その他不燃性のものに吸収させ、大量の場合は、盛土で囲って流出を防止する。
③漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
④河川等に排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。
⑤付着物、廃棄物などは、関係法規に基いて処置をすること。
⑥周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

①換気のよい場所で取り扱う。
②容器はその都度密閉する。
③皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
④取扱い後は手・顔などを良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

保管上の注意

①通気をよくし、蒸気が滞留しないようにする。
②日光の直射を避ける。
③火気、熱源から遠ざける。

8. 暴露防止及び保護処置

許容濃度、管理濃度（職業的暴露限界値、生物学的限界値） 該当せず

設備対策 特別必要なし

保護具

呼吸系の保護	防塵マスクを着用する。
手の保護	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護	保護メガネを着用する。
皮膚及び	皮膚を直接暴露させないように衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない
身体の保護	材質であることが望ましい。
その他	静電塗装をする場合には、帯電防止服、通電靴を着用する。

9. 物理及び化学的性質

状態:液体、色:淡黄色
 沸点(参考値):97℃以上、蒸気圧:—
 蒸気密度:—、比重(密度):1.00-1.02、pH:8-9
 オクタノール/水分分配係数:混合物としてのデータなし
 引火点:—、発火点:—
 爆発限界:—

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
安定性	なし
その他の危険性情報	なし

11. 有害性情報 なし

12. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

(1)生態毒性	:混合物としてデータなし
(2)残留性/分解性	:混合物としてデータなし
(3)生態蓄積性	:混合物としてデータなし
(4)土壤中の移動性	:混合物としてデータなし

13. 廃棄上の注意

- ①廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をし処理を委託する。
- ②容器、機器装置等を洗浄した洗浄液等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ③排水処理、廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。毒劇物取締法該当の場合、「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って処理をする。
- ④廃塗料などを焼却処理をする場合、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ⑤廃棄物等を焼却する場合、有害ガス等を発生するため、適切な除去装置のある焼却炉を使用。
- ⑥塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法規に準じて行うこと。

14. 輸送上の注意

- ①取扱い及び保管上の注意に従う。
- ②陸上輸送では、消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合には、法令の定めるところに従う。
- ③海上輸送では、船舶安全法の定めるところに従うこと。
- ④航空輸送では、航空法の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	:該当しない
毒物劇物取締法	:該当しない
消防法	:該当しない
船舶安全法	:該当しない

悪臭防止法 : 該当しない
化学物質管理促進法 : 該当しない
指針番号
国連番号

16. その他の情報

主な引用文献 ☆独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)公表データ
☆日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」「塗料原料便覧」

注 意

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全の確認を行って下さい。